

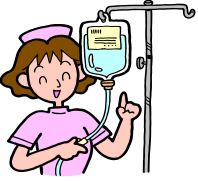
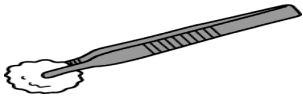
胃の部分切除術を受けられる患者様へ (No. 1)

患者様用

患者様氏名:

受け持ち医師:

受け持ち看護師:

月日 項目	入院当日～手術前々日	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目
達成目標	・手術について理解し、同意している。 ・手術の準備ができている。			・全身状態が安定している	・創痛のコントロールができる ・離床ができる			
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ		()時に薬の内服があります	()時に薬の内服と痛み止めのテープを貼ります 手術の開始時間は()時頃です	手術中、鼻より管(胃管)を入れます 手術後より酸素マスクを着用します(翌朝まで)	適宜、ガーゼ交換を行います 胃管を抜去します 痛みがある場合は痛み止めを使用します 点滴をしています	背中痛み止めのチューブを抜きます		
検査				採血があります	採血とレントゲン検査があります		採血とレントゲンの検査があります	
活動・安静度	自由に動くことができます			ICU(集中治療室)に入ります ベッド上で安静となります	ICU(集中治療室)から病室へ帰ります 歩行できます(最初の歩行は付き添います)			
食事		()時から絶食です	朝から絶飲食です ()時から絶水です	検査の結果で水分摂取ができます				
清潔	入浴ができます	臍の処置と毛剃りを行った後、入浴します			お身体を拭きます			
排泄			朝、()時に浣腸をします	手術室で膀胱カテーテルを入れます		膀胱カテーテルを抜きます 尿量を測定します		
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	主治医から入院治療計画・手術の説明があります 看護師から入院生活と手術についての説明をします	手術に必要な物品や書類がそろっているか確認します 麻酔科医の診察があります ICU(集中治療室)・手術室看護師の手術前訪問があります	手術開始から手術終了までご家族には控室でお待ちいただく必要があります	手術後、主治医からご家族に手術の結果の説明があります 				

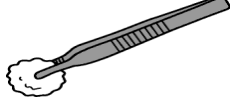
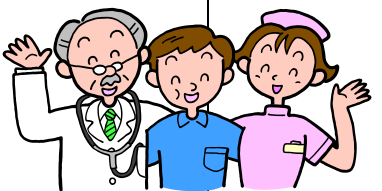
胃の部分切除術を受けられる患者様へ (No. 2)

患者様用

お名前

受け持ち医師:

受け持ち看護師:

月日	手術5日目	手術6日目～7日目		手術後8日目～9日目		手術後10日目～退院	
項目	手術5日目	手術6日目～7日目		手術後8日目～9日目		手術後10日目～退院	
達成目標	・創痛のコントロールができる ・創部・ドレーン排液に異常がない ・経口摂取ができる	→		・ドレーン抜去ができています	→		・全粥または常食の摂取ができる ・発熱・腹痛がない ・退院後の生活について理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	適宜、ガーゼ交換を行います  点滴をしています 胃薬の処方があります	術後の経過をみてドレーンを抜きます				退院基準	
検査	採血の検査があります						
活動・安静度	自由に動くことができます						
食事	全身状態に合わせて食事が始まります 			食事形態(胃切後分割食)は全身状態に合わせて粥から常食に変更になります			
清潔	お身体を拭きます 	シャワー浴ができます					
排泄							
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	栄養士から入院中の食事についての説明があります。胃のつかえ感や胸やけ、冷や汗等の症状が出現したらお知らせください				栄養士から食事についての説明があります ご都合のよい日時をご家族と相談してください		退院時に次回の外来予約、退院時処方をお渡しします

※この計画書は診療の概要を記したものであり、状況に応じて変更することがありますのでご了承ください。
※不明な点があれば、遠慮なく担当医又は看護師にご相談ください。

神戸医療センター外科 2018. 01改訂